

国際ロータリー第2820地区

古河ロータリークラブ週報 22



2020-2021 栗原 清年度 クラブテーマ
「行動は進化をもたらす」

今年で55周年!



古河
Koga
Japan

**古河ロータリークラブ
発起人の7名** (敬称略)

故
平野二郎



故
飯島賢治



岩崎 清



故
佐藤長之助



故
船江豊三郎



故
須藤信三



故
井上延太郎



2020-2021年度
国際ロータリー会長
ホルガー・クナーク



2020-2021年度
国際ロータリー第2820地区
池田 正純 ガバナー



地区スローガン
ロータリアンのイノベーション
磨こう人間力

- 設 立：1966年(昭和41年)7月7日
RI加盟承認 1966年8月30日(754番)
スポンサークラブ土浦南ロータリークラブ
初代会長 井上 延太郎、幹事 岩崎 清
- 事務所：〒306-0002 古河市三杉町1-7-8 間下 保
TEL: (0280) 32-7020 FAX: (0280) 32-8221
e-mail: dan@koganet.ne.jp
- 例会場：〒306-0023 古河市本町1-3-9
常陽銀行 古河支店 3階
TEL: (0280) 32-3131 (代表)
〈臨時例会場〉ザ・カナルハウス
- 例会日：毎週金曜日(第5金曜日は無し)
- 会 長：栗原 清(55代)
- 幹 事：間下 保
- 会員数：正会員59名
- 発 行：雑誌・会報委員会 熊木 善一 委員長
e-mail: cjpqm384@yahoo.co.jp
- 公式HP：http://koga-rotary.org/

第2630回例会 2021年5月14日(金)

本日の例会プログラム

- 月初めのお祝い
- 卓話「青少年奉仕月間」
青少年奉仕委員会 伏木 利光 委員長

次回の例会プログラム 5月23日(日)

- 移動例会
第2820地区 地区大会
会長・幹事のみ参加
リモート配信あり

第2629回 4月18日 古河ロータリークラブ創立55周年記念事業Ⅰ 「未来へつなぐ 栗原年度ゴルフ55年目の布石」

司会・進行



岩田 潤一
職業奉仕委員会委員長
前田 美代子
社会奉仕委員会委員長

ソング



ソングリーダー
浜野 雅之君

会長の時間

栗原 清 会長



皆さんこんにちは、本日の会長の時間、時間短縮お許し頂きたいと思えます。

本日の例会は、古河市長 針谷力様をお招きして、開催させていただきます。第3例会でございます。先日の例会で申し上げましたが、本年度は古河ロータリークラブ創立総会年月日であります、1966年7月7日 RI加盟承認年月日1966年8月30日（754番目）から55年の節目に当たります。

本来であれば50周年は51年目に開催いたしておりますので55周年は56年目、来年度56代の開催ではないかと思われる方もいらっしゃると思えます。

55周年は60周年の通過点であります。55代会長という名の通り中間点では、今年が相応しいのではないかとと思ひまして開催させていただきました。

2019年12月の年次総会におきまして、55代会長エレクトとして、ご承認頂きました。その当初は、新型コロナウイルスという想定は全くございませんでした。55周年にあたり記念事業も頭の中では色々な考えが浮かんでいました。①職業奉仕に依る被災地方面の工場見学②東日本大震災から10年経った被災地の現状、遠藤年度で宮城県七ヶ浜町憩いの場所公園内にヤマモミジを植樹した今の状況視察③温泉地で温泉に浸かって疲れを癒して頂き、親睦を深める懇親会④青少年奉仕委員会による、こども食堂開催等、他にも色々考えておりました。55周年記念式典は、会員の皆様とこじんまりとした式典（これは間下実行委員長に蹴られました）

私の年度は新型コロナウイルスの真ただ中、始まりまして、終息という言葉が見えないまま、後2か月で終わりを迎えようといたしておりますが、今年度は色々勉強させていただきました。日本国・日本国民・古河市民がコロナという危機に置かれている中で、地域における奉仕活動・ロータリー活動のあり方等、間下幹事・会員の皆様のお力をお借りしまして、経験をさせて頂きありがとうございました。本日の記念事業に当たりまして、55周年として、その設立当初から、チャーターメンバーとして今日まで55年間在籍をなされ、古河ロータリークラブ現役の

【演奏題目】

国家 『君が代』
ロータリーソング 『古河ロータリークラブの歌』

ゲスト紹介

| | |
|--------|--------------------|
| 福田 一郎様 | 国際ロータリー2820地区第4分区分 |
| | ガバナー補佐（古河中央RC所属） |
| 高橋 正様 | チーフセクレタリー |
| | （古河中央RC所属） |
| 針谷 力様 | 古河市長（古河RC所属） |
| 落合 昇平様 | 古河市役所 企画政策部長 |
| 綾部 和明様 | 古河市役所 |
| | 企画政策部 企画課 課長 |
| 鯉沼 祐樹様 | 古河市役所 総務部職員課 |
| | 課長補佐兼職員研修係長 |
| 安喰 弘美様 | 古河市役所 |
| | 企画政策部 企画課 係長 |
| 山中 哲様 | 古河市役所 |
| | 企画政策部 企画課 主幹 |



会員ではございますが、当クラブを導いて頂き、そして見守って頂いております古河RC第7代会長の岩崎清パスト会長、2820地区で最高年齢55年間例会出席100%です。素晴らしい、そして、岩崎清パスト会長が古河ロータリークラブ55年の歴史そのものでないかと思えます。又別の機会に55年を振り返って頂き、設立当初から、今日に至るまでの岩崎清パスト会長『きよしの55年間の布石』をご教授頂けます様宜しくお願いいたします。同じ“清”ながら恥ずかしいです。

この後「創立55周年記念事業パートI」『未来へつなぐ栗原年度55年の布石』“古河ロータリークラブの未来のために備えて頂く”ワークショップが開催されますが、いくつかのブースがあります。スタンプリー的に回って頂き最後にSDGsバッジを受け取る流れにと先程間下実行委員長よりご説明が有ったと思えます。

また、先日申し上げました通り、本日、会員によるSDGs『サステナブル デベロップメント ゴールズ』持続可能な開発目標をご理解頂くカードゲームが開催されます。先日の例会において卓話を頂いた古河市役所の職員の皆様には、本日もご苦勞お掛けいたしますが、宜しくお願いいたします。本日の事業、コロナ禍の事業ということで、会員の皆様の協力は勿論でございますが、この設営に当たり事業を企画・立案・実行、そしてコロナ禍の中の感染防止対策は勿論、CO2濃度まで考えて、会場設営して頂いた間下実行委員長をはじめ、●『総務部会会員サービス担当』この部会が一番大変だった部会だと思えます。田村武敏君リーダーご苦勞様です。

●『記念事業部会SDGsゲーム担当』この部会も大変だったと思えます。前田美代子リーダーご苦勞様 ●『事務局・記録・DVD担当』一番楽な部会の伏木利光リーダーご苦勞様 ●『情報発信部会リーフレット作成』次に楽な部会の岩田潤一リーダーご苦勞様です。リーダーの方々と何回もの実行委員会を重ね、本日の事業の詳細な打ち合わせ、本当にご苦勞様でした。感謝という言葉しか浮かびません。ありがとうございました。

最後になりますが、5月30日(日)パートIIの事業においても、高校生対象になるかと思えますが、『SDGsカードゲームの開催』次代を担う若者達にSDGsの理解を深めて頂く事業があります。55周年記念事業、皆様の最後までのご協力を改めてお願いいたします。ありがとうございました。

針谷 力 古河市長挨拶



皆さんこんにちは、只今ご紹介に頂きました古河市長の針谷でございます。本日は記念例会古河ロータリークラブ創立55周年記念事業パートIが開催されます事心からお祝い申し上げます。又、古河ロータリークラブの皆様におかれましては、日頃より市政に対しご理解ご協力を頂きこの場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

さて古河市では、昨年9月に持続可能な地域社会花のある街古河を実現し、古河市民と共に我が国が世界のSDGs達成に貢献する『古河市SDGs推進宣言』を行ったところでございます。このような状況の中、古河ロータリークラブの皆様におかれましては、本日SDGs行動宣言をされるということで、市の取組に対しましていち早くご賛同頂きまして誠にありがとうございます。このSDGsのゴールを達成するには、まずSDGsを理解すること、そして自らの生活をSDGsの視点からから見直し、将来に向けて改善していくことが必要でございます。今後ロータリークラブの皆様のご協力を賜りながら、SDGsの普及啓発に取り組んで参りたいと考えております。会員の皆様におかれましては、本日のカードゲーム形式による研修を通しまして、SDGsの理解を深めて頂くと共に、今後の取り組みに期待をしております。

結びになりますが、古河ロータリークラブの益々の発展と、本日お集まり頂いた皆様のご健勝をご祈念いたしまして、簡単ではございますが、挨拶とさせていただきます。本日はおめでとうございます。

感謝状授与

古河ロータリークラブのチャーターメンバーである岩崎清パスト会長に、55年間のロータリーでの活躍と功績に対し、感謝状と大好きな当クラブ会員の青木酒造の大吟醸が贈られました。



古河ロータリークラブSDGs行動宣言



【シニアの部】

優勝 早川 宏君
準優勝 関口 哲勇君



記念事業紹介・本日のスケジュール説明



一般の部準優勝・シニアの部優勝 早川宏君のスピーチで「準優勝・優勝したことよりも、ドラコン賞を3本取れたことが一番嬉しい」とコメントし、優勝した間下保君より「今回はメンバーに恵まれ、ゴルフに集中できたから」とのコメントを頂きました。

次回は6月3日 栗原年度最後のゴルフコンペが開催されます。ゴルフ好きな会員の皆様のご参加をお待ちしております。

委員会報告

出席委員会 小野 正人 委員長



| | |
|------------|----------------|
| 会員数 | 55名 |
| 出席者数 | 44名 |
| 出席免除者数 | 2名 |
| うち欠席者数 | 11名 |
| 事前連絡者 | 9名 |
| 出席率 | 100.00% |



IN1組目



IN2組目

栗原年度第3回ゴルフコンペの結果報告

親睦・家族委員会 浜野 雅之 委員長

4月15日(木)に桃里カントリー倶楽部にて晴天の中、26名の参加者にて開催されました古河RC栗原年度第3回ゴルフコンペの結果をお知らせいたします。

【一般の部】

優勝 間下 保君 OUT 44 IN 42
GROSS 86 HDCP 12
準優勝 早川 宏君 OUT 47 IN 48
GROSS 95 HDCP 20
第3位 飯田 敏行君 OUT 41 IN 41
GROSS 82 HDCP 5
(BG)



IN3組目



IN4組目



OUT 1組目



OUT 2組目



OUT 3組目



OUT 4組目



ニコニコBOX (敬称略)



町田 晴彦
副幹事・会計

ゲスト

第4分区 本日は国際ロータリー第2820地区・第4
ガバナー補佐 分区内で最も歴史と格式ある古河ロータ
福田一郎様 リークラブの創立55周年記念例会の開
催、誠におめでとうございます。

チーフセクレタリー 今後とも貴クラブの益々の発展をご祈念
高橋 正様 いたします。

栗原 清 古河市長様、古河市役所の皆様、本日は
ありがとうございます。会員の皆様
本日は宜しくお願ひいたします。

川島 陽一 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

蓮見 公男 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

大和田五郎 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

野澤 豊輔 55周年祝して

川島 栄 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

遠藤源一郎 55周年おめでとうございます。

野村 利夫 55周年おめでとうございます。SDG s
宜しくお願ひいたします。

飯田 敏行 古河ロータリークラブ創立55周年を祝して
間下 保 皆様本日はありがとうございます。宜し
くお願ひいたします。

野村 久男 55周年おめでとうございます。

塚田 晴夫 55周年おめでとうございます。

針谷 力 55周年おめでとうございます。

伏木 利光 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

坪野 潔 55周年おめでとうございます。

森田 一雄 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

遠藤 誠 古河ロータリークラブ創立55周年おめ
でとうございます。

阿久津 理 栗原年度 55周年おめでとうございます。

岩田 潤一 55周年おめでとうございます。

濱中 忍 55周年おめでとうございます。

岩崎 聖一 創立55周年おめでとうございます。

若松 理 55周年おめでとうございます。

浜野 雅之 4月結婚祝いをいただきました。55周
年おめでとうございます。

熊木 善一 55周年事業第1弾「古河ロータリークラ
ブ栗原年度55年目の布石」おめでとう
ございます。そして、お疲れ様です。

相良 登 55周年おめでとうございます。

前田美代子 古河市長様・市役所職員の皆様ようこ
そお越しいただきました。本日はよろし
くお願ひいたします。

- 立岡 喜一 55周年おめでとうございます。
- 小山 仁美 55周年おめでとうございます。
- 斉藤百合子 55周年おめでとうございます。
- 田口 哲也 55周年おめでとうございます。
- 早川 宏 幹事さんご苦労様です。
- 鈴木 敏雄 55周年おめでとうございます。
- 篠崎 清忠 創立55周年おめでとうございます。記念例会楽しみです。
- 井上 勉 55周年おめでとうございます。
- 町田 晴彦 55周年記念おめでとうございます。

| | 投入件数 | 合計金額 |
|----|------|------------|
| 本日 | 37件 | 91,000円 |
| 累積 | 805件 | 2,150,000円 |

幹事報告

間下 保 幹事



連絡事項は2件あります。

1. 次回の例会は5月14日(金)PM0:30~1:10ザ・カナルハウスとなりますので間違いないようお願いいたします
2. 訃報のご連絡です。阿久津理会員のご母様が15日ご逝去されました。20日に家族葬にて執り行われますと言うことですので、皆様のご参列はご遠慮下さいとのお願いが来ておりますので皆様ご了承ください。

2820地区 第4分区ガバナー補佐 福田一郎様講評



皆さんこんにちは、国際ロータリー2820地区第4分区ガバナー補佐を務めております、古河中央RC所属の福田一郎です。宜しくお願ひいたします。

そして、日頃から地区の活動に対しご協力を頂きありがとうございます。本日は古河ロータリークラブ創立55周年と言う事で、誠におめでとうございます。実は間下実行委員長、間下幹事より本当のご招待を頂き即行即止で参加を承諾いたしました。その際に間下幹事様の方から、本日の参加に際し栗原会長には、内緒で参加頂きたい。栗原会長に対して、サプライズゲストということで、参加頂きたいとお願ひがございました。案内されるまで駐車場で待機して、隠れる様な行動を取りこの例会に参加するこ

とができました。少しはサプライズになったのでしょうか？この様な形で参加させて頂き今迄楽しく過ごしております。メールで頂いた招待状の中に、本日の記念事業の趣旨が書いてありました。『価値ある団体として、伝統と格式を重んじ、発展進化する古河ロータリークラブであるため、55年目の布石として改めてロータリアンの意義と役割を考慮することで会員の資質向上と、意欲向上のきっかけを作り、未来へ繋ぐ大切な一日を創る』を私が目にした時とても感動いたしました。今年度池田正純ガバナーの地区の目標として『環境問題』を掲げております。正に本日のSDGsは池田正純ガバナーのオゾン層破壊・砂漠化・水資源の危機・エネルギー問題・食糧問題・生物多様性・人口爆発と貧困・地球温暖化・森林破壊・そして、ごみ問題等々今日の記念事業のテーマでございます、「古河ロータリークラブとSDGs」はまさに地区の目標に沿ったテーマであると考えております。そして、本日のSDGsに対する講評と依頼されたのですが、「地方創生のカードゲーム」ですが、勉強不足もあり、大変難しく感じました。というのが私の講評ですが、難しい中にも正しいやり方なのかと参加しておりました。自分の理解の無さを反省しております。ゲームの中で行政機関の立場で参加し、お金を借りに来る事が多いのか、ゲームであっても、何か行動を起こすにはお金が必要なのか、そもそもアイデアも必要だと思いましたが何はともあれお金が必要である事を実感させられました。このSDGsは2016年から2030年を期間として、17項目169のターゲットとして世界中で取り組んでいると思います。地球を大事にして人類皆が豊かな生活を送る目標もあるかと思いますが、ただ一つ私の中で疑問ですが、人類が豊かになる、日本人は非常に豊かな生活をしています。若干の格差はありますが、豊かな生活をしていると思います。発展途上国・発展途上までいかない国々の地球の人口が、今の日本人と同じ様な生活をした時に地球はパンクして存在できない、地球が2.5個~3個無いと維持することができないという統計が出ています。では今の状況の中ですべての人が、日本人と同等の生活水準で生活できる様になるのか、今体験した様に色々な工夫を行い、環境問題を考慮して、我慢と援助をして貧しい人々を豊かに平均化を図って行くしかないのかもしれない。ですから、今の豊かさを自分だけで、満足してはダメなのかもしれません。本日体験したSDGsの『地方創生カードゲーム』等を通して考えていかなければならないのかと感じました。

長くなりましたが、結びに古河ロータリークラブ

の第55代栗原会長は年頭でクラブテーマを『行動は進化をもたらす』といたしました。私も良いテーマだと感じました。ガバナー公式訪問の際と一緒に訪問させて頂いた時そう感じました。本日の行動が進

化をもたらすと正に思います。非常に楽しい時間を過ごさせて頂きました。本当に古河ロータリークラブ創立55周年おめでとうございます。

創立55周年記念例会 第1部



SDGs「地方創生カードゲーム」



卓話 5月14日(金) 5月第1例会 2630回 青少年奉仕月間

卓話 青少年奉仕委員会・RA担当

卓話者 委員長 伏木 利光



今月青少年奉仕月間ということで、卓話させて頂きます。まず、初めに本来ならば例年、青少年奉仕事業の事業報告会を行う形が多いのですが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で委員会活動が殆ど中止で、何もできずの1年間で、とても残念で本当に申し訳ございませんでした。

今年度、青少年奉仕委員会では、「新世代の若い人達にロータリー青年プログラム活動等を通して、人間力を磨き、地域の素晴らしさを実感し、次への

成長繋げる」という目標掲げ活動する予定でした。目標スローガンの中にロータリー青少年プログラムとありますが、どのようなものなのか、又用語説明を少しさせて頂きます。

【青少年プログラムとは】

新世代の為のRI常設プログラムで、インターアクト・ローターアクト・ロータリー青少年指導養成プログラム (RYLA ライラ)、ロータリー青少年交換があり、30歳までの青少年が将来リーダーになる為に、必要なスキルを身に付ける指導力開発の研修や文化交流に参加する事により、自分自身と世界について発見することができ、ロータリアンを模範として、倫理・奉仕・親睦の理念についても学べます。

次に各プログラムの概略を簡単に説明させて頂きます。

〈インターアクト〉

12歳から18歳までの青少年の為の国際ロータリーの奉仕クラブです。インターアクトクラブは、支援や指導を与えるロータリークラブが提唱し結成されますが、運営面でも経済的にも自立しています。活動内容としては、国際理解と親善を推進し地元企業や海外クラブと友情のネットワークを築きます。現在120余りの国や地域にあり、14,000以上のクラブが行って320,000人以上の若者が関わりを持っています。

〈ローターアクト〉

18歳から30歳までの青年男女の為のロータリーが提唱する奉仕クラブです。

ローターアクトクラブは、地域社会又は大学を基盤とし地元ロータリークラブが提唱し「奉仕のパートナー」であり、ロータリー家族の重要な一員です。現在160余りの国や地域にあり、9,000以上クラブがあります。

〈ロータリー青少年指導者育成プログラムRYLA (ライラ)〉

ロータリーが実施する若者達の為の研修プログラムです。

12歳から30歳の青少年ですが、多くのクラブや地区では、12歳から18歳、19歳から30歳などの年齢層を絞って実施しています。RYLAはリーダーシップ・良き市民・人間としての成長を強調しています。

〈ロータリー青少年交換〉

世界を前進させる力。学生を対象とした最高で1年間母国以外の国でホストファミリーと生活し学校へ通います。ロータリーの長期と短期の青少年交換プログラムによって新しい生活様式・新しい言語、そして自分自身についても多くのことも発見することになります。また、自国やその文化、自分の出会った人々に伝える若き親善使節として、親しい友人を作りながら世界を一つにする役割を担います。年間800人以上の若者がロータリー青少年交換を通じて貴重な体験をしています。

この様なプログラムにより青少年奉仕とは30歳迄の若い人の多様なニーズを認識しつつ、より良き未来を確実な物とする為に青少年の生活力を高める事によって将来の準備をさせることです。青少年支援プロジェクトの基本ニーズとは、『健康・人間の価値・教育・自己啓発』だと思えます。

そして栗原年度、創立55周年を迎えて昨日、SDGs行動宣言をしました。本年度は新型コロナウイルスの影響で単独での事業ができませんでしたが、古河ロータリークラブ創立55周年記念事業で『古河市と合同で市内の子供達を対象としたカードゲームを用いたSDGsの体験と理解を深める』イベントがあります。記念事業部会と協力して当委員会

もお手伝いをさせていただきます。

次年度以降、SDGsと青少年奉仕活動と絡めて事業展開をすれば、より素晴らしいものになると思います。

今年何もできなかった悔しさを次年度青少年奉仕委員会の岩田潤一君に全てを託したいと思えます。その際には率先して協力し、お手伝いをさせていただきますので、何なりとお申し付けください。

次にローターアクトに関しましては、リモートで例会を数回行いましたが、事業は全て中止となりました。現在の2名での活動なので、例会も衛生クラブと合同での開催もあり運営自体も非常に厳しい状況と感じました。今後のローターアクト運営について各クラブとの協議が必要ではないかと思いました。

出向先の『わたらせ水辺の楽校連絡会』でも新型コロナウイルスによるイベント等は中止・縮小したものとなりました。旧三国橋下にあります水辺の楽校周辺の一部に「ひまわりの植栽」「メダカの飼育記録配信」「古河公方公園での野鳥観察」等でした。又、三国橋の橋脚の一部に落書き防止対策と水辺の楽校のPRを兼ねまして、古河大使でアニメーターの浅野恭司氏のイラストを描く事業も企画しております。

最後に本年度は、新型コロナウイルスの影響で何もできず本当に申し訳なく、ご迷惑おかけしましたことをお詫び申し上げまして、卓話を締めさせていただきます。

連絡事項

4月23日(金)PM5:15~5:45 和田家にて栗原年度第4回クラブ協議会が開催され、各委員会委員長より今年度活動報告が述べられ、続いてPM6:00より次年度坪野年度第1回クラブ協議会が開催され、坪野潔会長エレクトより来年度に向けての活動方針等のご説明がありました。



編集後記 editor's postscript

ゴールデンウィークも終わり、栗原年度も残すところ後わずかとなり、コロナ禍の中、次年度に向けての動き出しつつある今日この頃。高齢者ワクチン接種も始まりましたが、まだまだ先が見えない状態で、自粛・我慢が続くかと思われまますのでコロナに負けない様頑張りましょう!